

教員名	高橋 俊彦 (TAKAHASHI Toshihiko)
所 属	ライフワールド・ウオッチセンター
学 位	理学博士
職 名	助教授
URL/E-mail	toshi.t@cc.ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード

化学物質総合管理 / 国際動向 / SAICM / 自主管理 / 法律体系

## ◆主要業績

総数 (2) 件

- ・高橋俊彦・山崎隆生・大久保明子・増田優. 企業の社会的責任と化学物質総合管理を巡る最近の国際動向－行動評価指標の開発の視点を踏まえて－. 化学物質総合管理. 1(2),2005,p288-305
- ・高橋俊彦・結城命夫・増田優. 国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ (SAICM) に関する国際動向調査. 化学生物総合管理学会 2006 年春季学術集会. 東京都文京区お茶の水女子大学. 2006 年 3 月.

## ◆研究内容

本研究では化学物質管理に関する最近の国際動向とわが国の現行制度とを比較することにより、わが国が抱えている課題を明らかにするとともに、課題の解決に向けての目標、方策、戦略を導き出すことを目的とする。現在、安全・安心で持続可能な社会の構築が世界的に求められている。法令を遵守するのみならず、企業の社会的責任 (CSR) を求める社会の要請や社会的責任投資 (SRI) の動きが近年強まっている。また、化学物質管理においても自主管理が主要な役割を担うことがアジェンダ 21 第 19 章やヨハネスブルク実施計画を通して世界の常識となった。国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ (SAICM) の調査を通じて世界の化学物質管理の動向と今後のわが国の化学物質管理の有り方について検討した。

## ◆Research Pursuits

---

The purposes of my research are to clarify the problems which our country has in the field of chemical management and to design the target, the way and strategy to solve the problems by comparing current regulation system for chemicals management in Japan with the international trend.

It has been longed worldwide to build a safe and sustainable developable world. Companies are recently demanded more and more not only to obey law but to implement CSR (corporate social responsibility). SRI (Socially responsible investment) has become more popular. Voluntary action for the sound management of chemicals by companies has been common sense through the implementation of chapter 19 of Agenda 21 and the Johannesburg Plan of Implementation.

The global trend in chemical management and the direction of the management in Japan was investigated through the research of Strategic Approach to international chemicals management (SAICM).

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

自主管理・社会的責任という概念は企業に限らず社会を構成し化学物質管理に係る全てのセクターに共通するものである。自主管理・社会的責任に基づく行動が各セクターに期待されており、これに応えるための体制の構築が急がれている。企業以外の専門機関、人材育成機関、非政府組織が化学物質管理に関して抱えている課題を検討し、今後とるべき方向を提言することにより、各セクターの今後の発展に資することが期待される。